

5月 23日

電 11361

1181

受信 14.45
始了 16.10
了 20.15

電 作概



至 急

五 二三

譯受 始信 一四四一〇五

譯了二〇一五 電一一三六一 作 概



東 三 一 通



三 二 通

機密 第二二二二二一八番電

發 第三二特根地隊司令官

宛 南西方面艦隊參謀

通報 大海參一部長

貴機密第一九一四五〇番電返

一 指揮官大尉友南武義舊ヨコ一七二

二 第一回攻撃五月十一日兵曹長忠田美實(舊佐志水一七二六〇)

指揮大發一艇長上曹野田(佐徹水二三四三六)一内火艇一隻

通一二六三四 呂一Bラ十八 (一五七二〇KC) 三二通 鈴木(阿波)

昭和廿五年五月廿七日

一 艇長上曹井上（吳 水九八九六）「夕日石」灣敵艦船攻撃中
型輸送船四隻撃沈 艇長吉本（吳志機二一二九七）ノミ戦死（襲撃後
敵中斬込）

三 第三回攻撃五月十五日少尉岡村興三太（ホ六三八九）指揮大發三一
艇長一等兵曹國內（吳徵水第二七四五五號）上等兵曹有本（吳志水
第三三四五三號）一曹野口（佐徵水一五五一九）一
「夕日石」泊地攻撃 驅逐艦一隻撃沈輸送船大傾斜撃沈 岡村少尉
ノミ未歸還

161

5月23日
818T 受訊
受訊

信始了
05.13
06.00
14.55

電 11249
作 概
参 本

傍

緊 急

五 二 三
受信 〇〇五〇一三
開始 〇六〇〇〇

了 一四五五

電 一 二 二 四 九

参 作
本 概

昭和廿年五月止

三 南 遣 艦 隊

聯合艦隊 〇・二二特根 〇・二三特根 〇・二六特根 〇・?

機密 第二二二三五八番電

三二警備部隊 戰圖 概報 第三二號 (五月二十二日 其ノ二)

ダバオ方面

ワコン方面へ北上中ノ敵ハ二十一日一〇〇装甲車數輛歩兵

一〇〇ヲ以テボト平地正面ニ侵入我之ヲ邀撃人員四〇名

ヲ爆碎二十二日朝約二〇〇ノ敵同所上陸北上二一四〇敵ハ第

一飛行場補修開始セルモノ如シ

敵主攻ハ依然シタルニ在リ同方面ニ敵徐々ニ侵透開始激戦

通 一 二 四 六 〇 呂 一 B 一 八 (七八五五) 三二通 末光 (小幡)

中?

海上方面

- (イ) 昨夕タバオ灣侵入ノ敵艦團其ノ後ノ情況不明
- (ロ) 一四四〇敵魚雷艇ハサランガニ島沿岸偵察ノ上ハツコ灣反航
- (ハ) 一七三〇驅逐艦三隻上陸用舟艇一一隻タロモ出港南下セルモノノ如シ

(東通註 本電誤字多キ爲遲延)

5月23日

ST8T

電 11222
作 概

受信了
12.56
01.45
02.10

至
急

五
二三

受信了
一四五
一四五六

譯了〇二二〇
一三三三
作概

昭和廿年五月廿七日



東



三

一

通

通



三

二

通

機密第二三〇〇二八番電

發 三二警備隊指揮官

宛 南西方面艦隊司令長官

通報 聯合艦隊司令長官 大本營海軍參謀部第一部長

當隊機密第二二〇九二四番電中タバ才海部隊第二 攻撃隊ヲ第三攻撃

隊ニ訂正

通一二六〇一 呂一Bラ一八(一五七一〇)三二通 高橋(山田)

5月 23日 受訊
918T

電 11385
作 概
航 本

信 21.55
始 22.10
了 22.40



五 二 三
作戰緊急

受信二二一五〇

譯了二二四〇 電一一三八五

航作 本概 ○

昭和廿五年五月廿七日

機密第二二三二〇〇二番電

● 第五基地航空部隊作戰命令着信艦所

● 第五基地航空部隊

第五基地航空部隊電令作第一三二號

偵察隊ハ明二十四日「オロンガボ」「マニラ」及「リンガエン」方面

敵艦船集結情況ヲ偵察スベシ

通一二八一二 呂一〇七七一(三七八二、三三三三) 五基地航空部隊

未
(南谷)光

165

昭和廿五年五月廿七日

五二二三四
受信〇二〇三三七
譯了〇一三七
電一四四九
參作
本概

緊急



三二核戰團概報着信艦所
二二、二三、二六各根卜

機密第三三二一五六番電 二分ノ一、二

電作參 概本 {11449, 11450}

5月受訊詠
23日 信始了
24日 23, 37
00, 49
01, 37

三二KB戰團概報第二四號(五月二十三日)
一タバオ方面

(イ)ラサン街道上ノ敵ハ概ネラサン方向ニ北上中ニシテ補修完成セル
街道上車輪往復頻繁ナリ一部ノ敵ハ「チケホ」附近ヨリ西方山
地ニ侵入シ來レルモ退セリ
(ロ)ミントル附近ニテ「夕口モ」河ヲ渡河セル敵ハ同北方台地ニ増強
中ニシテ我夜襲ニ依リ反擊中

418T 通二二八七一・二二八八二 呂一日ラ一八(七八五五)KO(三二二) 中野(福田)

三 海上方面一〇〇〇夕ハ才灣内ノ敵驅逐艦一掃海艇一馳滯艇四
 三 當隊機密第二二一五〇七番電ヲ三二警備部隊戦闘概報第三二號（五
 月二十二日其ノ一）同機密第二二二三五八番電ヲ三二KB戰鬥概報
 第三三號（五月二十二日其ノ二）ニ改ム。



五二四 受信一四〇〇 譯始一三四〇 譯了一六一〇 電一一八一

三 一 通 三 二 通

機密第二四〇八四一番電

昭和廿年五月廿七日

11811 電概本 作參

發 撥兵團長 宛 第三南遣艦隊司令官 通電先 威尙武豹

通報 尙武

11.40
13.40
16.10

4日信扱了
2日受訳訳

5月 6T8T

一、敵ハ依然「ミシタル」(現注陣地)ノ我ガ右翼ニ重點ヲ指向シアリ
テ其ノ約二個中隊ハ「タロモ」河ヲ渡河主陣地内ノ前方ニ侵入シ
來リ 所在部隊ハ逆襲及斬込ニ依リ敵ヲ撃滅セントス
二、兵團ハ主力ヲ以テ右敵ヲ撃滅スル爲戰鬪ヲ止メダバオ河左岸地區
ヨリ轉用セル河添旅團ヲ右第一線ニ増加現在迄ノ志木旅團ヲ左第
一線トシ敵ヲ碎スベク處置セリ 概ネ敵ハ海上ヨリ兵力及資材
ヲ時々揚陸シアリ又現存迄ニ病院船一隻ヲ回航破傷者收揚ニ努メリ
一三二五五 一三二五五 一三二五五 一三二五五 一三二五五 一三二五五 一三二五五 一三二五五 一三二五五 一三二五五

作

緊 急 五 二 四

受 信 一 一 五 四 三 〇 五

譯 了 一 五 五 〇

電 一 一 七 七 二 七 一 一 七 二 八

參 作 本 概

三 一 一 通 大 海 參 一 部

機 密 第 二 四 一 一 一 九 号 電

二 分 ノ 二

發 據 兵 團 長

宛 尙 武 參 謀 長

一、敵ハ依然「ミンタル」附近ニ重點ヲ指向シアリテ一昨二十一日

侵透シ來リシ約二中隊ノ敵ハ依然陣内ニ在

二、兵團ハ左旅團ヲ以テ「ミンタル」附近 右 旅 團 以テ「トクバ

クル」(「ミンタル」兩方ニ料一附近ノ敵ヲ砲兵協同ノ下ニ逆襲

通 一 三 一 二 五 呂 二 〇 八 (一 五 七 一 〇 KC) 三 二 通 (1)

昭和廿年五月廿七日

及斬込ニ依リ之ヲ退減ニ努メツツアルモ「ミンタル」附近ハ未ダ
完全ナル退ニ至ラズ 左旅團ハ本日海暮攻ニテ再興

三、「ダバオ」河左岸海軍部隊方面ノ敵ハ海岸線ノ飛行場「ササ」反

舟艇基地「バナカン」「テブニコ」ノ利用ヲ企圖シ之ヲ占領

セルモ我ガ主陣地ニ發着ノ攻ニテ認メズ

四敵ハ「マテナ」及「リビ」飛行場ヲ利用シアルモ観測機數機ニ

過ギズ。

(2)

5月24日

電訓 11756 11757

1822

受信始了
受談

15.17
16.00
17.10

緊急

五二四 受信一六一七〇
 詳始一六〇〇 詳了一七一〇
 電一一一七五六
 一一七五七 作訓

三二根戰團概報着信繼所
 三二、二三、二六各根

機密第二四一一三四番電 二分ノ二

三二警備部隊戰團概報第三五號(五月二十四日其ノ一)

戰訓所見

一、強靱ナル戰團遂行ノ爲當隊ニ於テハ後方輸送隊(彈藥、糧食、傷者)

陣地補強)ヲ設營隊施設部軍需部軍屬ヲ以テ編成(一個大隊約八〇〇

名ニ對シ約一五〇名ノ割合)シ陸戰隊指揮官ノ指揮下ニ入り能力ナル

統制ノ下後方輸送ヲ實施效極メテ大ナリ

二、控後各種地雷ハ總テ視發或ハ電氣發火トクザレバ、
 三、テ敵ニ利申ヲラルコトアリ

一、一六六二
 一、二二一六六二
 一、Bラ十八(一五七一〇)IC(三二二) 明比(一井)

脚發式地雷源ニモ肉攻手ヲ配シ敵若シ之ヲ發見處分トバ狙撃ス
ルカ或ハ誘導兵ヲ以テ積極的ニ敵ヲ地雷源ニ誘導スル等ノ手段ヲ講ス
ルヲ要ス

三 敵ノ戰車装甲車後退セル後小型地雷一手指榴霰程度ノモノニ針金を附シ
アリテ地雷ヲ設シアリシ實例アリ

四 交通壕ハ立射可能程度トシ所々ニ掩蓋及待避所ヲ作り又用儘可能ノ如
ク設備スルヲ要ス。

一 東邊註 敷設ハ城設ノ作成誤リト認ム

昭和廿年五月廿七日

五二四 受信一四五〇 了了一六一五 電一一八〇四 醫作務訓

緊急

作

三二根戰團概報着信送附
二二三二二三二六各根

機密第一四一二五四番電 二分ノ二

電訓務 1804 1805 作医

三二KB 戰團概報第三六號ハ五月二十四日 其ノ二

戰訓所見

野戰治療所ハ今次戰團ノ經過ニ鑑ミ概ネ左ノ要領ニ依リ配置ニ應ジ
機動性アラシムルヲ要ス 而シテ所在先任軍醫官全般ヲ統制各所轄
ノ醫務能力ヲ綜合之ガ至能發揮ニ遺憾ナカラシムルヲ要ス

信始了
受取訊
(イ) 大隊野戰治療所各一(最前線ヨリ六一七軒)
(ロ) 中隊野戰治療所二個大隊ニ付一(大隊野戰治療所ヨリ五一六軒)

通一一三一一五四三 呂一八ラ十八(一五七二〇五)三三三通 光澤・森(田中) (一)

1824

(イ) 野戦病院後方安全地帯ニ一(要スレバ) 中間野戦治療所トノ間ニ更

ニ一ヶ所中間野戦治療所ヲ設ケ

間ハ各大隊ニ行リ大隊夜戦治療所

(ニ) 傷者後方輸送ハ前線ト大隊夜戦治療所以後ハ後方輸送關署ニ行フ如

クス

三 特設海軍病院又ハ分院ハ其地區戰鬪態勢轉換ニ伴テ有リ設營及工作

能力ヲ有スル如ク豫メ編制シアルヲ要ス然ラザレバ急速戰鬪態勢轉換若

ハ急速移轉等ノ場合有設營及工作能力ヲ有セザレバ徒ラニ時機ヲ

シ其目的完遂ニ大ナル支障ヲ來ス。

5月25日 受信始了
8281 09.50
10.45
14.00

電 12235
12236
作動

作

至 五 二五 受信始了
〇九五〇 〇四四五〇
譯了 一四〇〇
電 一 二 二 三 三 六 五
符 共 〇

機密第二五〇七一二番電 二分ノ一

發 南島警備隊司令
宛 横領參謀長 十一潜水隊司令 大海戦力補給部長 横須賀軍需部長
長 横須賀運輸部長 横須賀人事部長 施設部長 横須賀海

兵團長
波 艦第一〇四潜水艦二十二日一九一三着荷役ノ上同二一〇〇發搭載品
遺骨九〇柱 (警備隊軍醫長以下二四柱陸軍軍醫將校以下三七柱施設部工
員二九柱) 遺留品及浮袋衣其ノ他若干。

通 一 三 六 三 三 七
天 二 B ケ 一 一 (一〇二〇〇〇) 南島警備隊

昭和廿五年五月廿七日

5月 6281

25日 受信了
25日 受訳訳

11.25
12.30
16.20

電 12286
作 概
参 本

五 二五 受信一 二二五 譯了 一六二〇 電 一三二八六 参作 本概



支那方面艦隊

上海特別陸戰隊

東通・一護衛隊隊長・中支部隊指揮官

機密第二五〇九〇七番電

發 上海地區海軍防衛指揮官

通報 大本營海軍參謀部第一部長・海上護衛總司令部・海軍總隊

戰間編報第三號（五月二十五日）

一〇三一五ヨリ約一時間敵大型一機上海地區ニ來襲丸轉石油附近ニ投彈

ニ戰果・被害ナシ。

（東通誌 支那通報）

通一三六八一 呂一八七一（一四九三〇）上 陸 青木（澤田）

昭和五年五月廿七日

5月 25日
088T

受信了
受訊了

14.14
16.20
17.49

電 12350
12351
作概

五二五 受信一四一四 譯了一七四九 電一二三五〇 作概
譯始一六二〇
一二三五〇

昭和廿五年五月廿八日

至急
東三

機密第二五二〇〇一番電

二分ノ一、二

發 三二警備隊指揮官

宛 南西方面艦隊司令官

通 海參 一部長 聯合艦隊司令長官

五月二十四日大尉伊藤(ホ五八四九)ヲ班長トスル第二六雷調整班ヲ

表彰ス理由ハ「タバ」ノ海上奇襲部隊一第二第三第四ノ攻撃隊編

成以來魚雷調整順備ニ當リ不眠不休ノ研究努力ヲ爲シ以テ海上奇

襲部隊ノ基礎ヲ確立セルノミナラス敵來攻直前迄魚雷ノ整備ニ努

メ港灣位ニ「タバ」河ニ對スル機雷原ヲ完成海上河川ノ防備ヲ大

一三七四〇

呂一Bラ一八(一五七一)XO(三二〇)

渡部(吉井)

179

二強化セリ 敵「ダバオ」灣ニ侵入スルヤ五月十一日、十五日ノ兩
 日奇襲部隊ヲシテ驅逐シ、輸送船三隻沈ノ戰果ヲ擧グルニ到ラシ
 ム之一ニ班長以下班員ノ不撓不屈ノ研究心ト旺盛ナル敢闘精神ノ成
 果ニシテ武勳顯著ナルモノト認ム。

1830

5月25日
288T

受信
了

15.15
15.50
16.45

電 日 12288
12290
概本 航本
作本

五二五
作戰緊急

受信
始一五五〇五

譯了
一六四五

電自
一一二二九〇八

航作
概本〇



天航空部隊作戰命令着信陸所・藤枝空基地

機密第二五一〇一〇發電

三分ノ一、二三

美軍部隊戰團概報第二五號（五月二十五日）

一、彗星八機〇〇四五ヨリ〇一三五迄ニ發進基地ノ二〇〇度二〇〇渾ヲ

基線トシテ東方ニ二三三度一五渾ノ竝行索敵攻撃ヲ實施ヤルモ敵ヲ見

ズ發動機故障ノ爲引返ス（一機）

二、攻撃隊彗星四機零戦四機〇一〇ヨリ〇一四〇迄ニ發進「コ」ス

基地ヨリ一九二度三〇〇渾及一九〇度二五〇渾左折二〇渾何レモ敵

ヲ見ズ

三、上空哨戒（憲屋）零戦四機〇二〇五及〇三二五ニ各二機發進敵ヲ見ズ

一一一
三三七七五
三三七七五

呂一Bケ一一（七八七五）
一放

久保田
村尾（増田）
東

四 被雲

攻撃隊零戦一機上空哨戒零戦一機未歸還攻撃隊彗星一機大分ニ不時着

五 天候

(1) 先端附近天候曇雲量九雲高三〇〇〇以上下層雲一〇〇〇米附近一
二ノ断雲アリ視界〇一五哩ニシテ不良

(ロ) 途中

- (1) 往航天候晴雲量二雲高一〇〇〇米視界五哩
- (2) 復航天候曇雲量中雲高三〇〇〇米以上其ノ他附近断雲三一四視界
〇一五哩

182

(2)

電 12284

5月 25日

1881 受信 12.58
1881 送信 13.51
1881 受信 16.10

概本
作参

作

五 二五 受信 一三五八
譯始 一三五八

譯了 一六一〇 電 一三二八

作参
本概

昭和廿五年五月廿七日

父根敵國概報着信儘所

父島通信隊

機密第二五一—一三〇番電

父島根據地隊戰鬥概報(五月十三日、二十四日)

二十三日早朝二回晝間四回哨戒機ヲシキモノ電測トリ 二三三

○頃敵大編隊ヲシキモノ本島西方ヲ北上トトリ

二十四日〇四五〇頃ヨリ二時間半ニ互リ敵大編隊本島上空ヲ南下

〇九〇五ヨリ十分間P!五一、四機來襲飛行場附近ヲ銃爆一〇

四五再度P!五一 三機來襲トルモ投擲トヌ本日早朝二回晝間

五回哨戒機ヲシキモノ電測トリ

三戰果被撃ナシ

四兩日共戰果不良ナリシモ敵哨戒状況ハ稀ニ見ル敵軍ナル特情ナリ。

一三七二五、ローバー一八(一〇二〇〇)KG、父送 仲業真

(佐)

五二五

受信 一六〇三
譯始 一六三〇

譯了一九三五

電一二三五三

作 概

作戰緊急



天一號作戰部隊

美保空基地

機密第二五一三一五番電

七〇六部隊特攻隊戰闘概報 (五月二十五日)

銀河一二機〇四四五〇五〇〇迄三發進内五機ハ途中ヨリ引返シ官

崎築城要保基地ニ歸着ニ機ハ〇九二八敵空母ニ突入セシムト確言ニ

テ沖繩周邊ト推定ニ機ハ〇八〇〇空母見ニノ爾以後消息ヲ終テ未詳

ニ(地點セキノ夕附近ト推定)他ノ四機ハ途中ヨリ連絡杜絶ニ終テ未詳

ナリ。

通一三七九九

呂一八七一一

七八七五五

放

山本 田中

昭和廿年五月廿八日

5月 27日 988T

受信了
受信了

20.50
21.25
23.40

電 13245
作 3216
本 概

通 一四四八四九

呂一Bラ十八

七八五五〇

三二通

長谷川
(吉井)

三二警備部隊戦闘概報第四〇號 (五月二十六日)

下タバオ方面

海軍ハ第二航空基地北方必勝臺主陣地ノ一部ヲ除キ依然左岸地

區主陣地ヲ確保海岸線及第二航空基地ノ敵一個大隊果敢ナル斬込

ニ依リ大ナル損害ヲ與ヘツツアリ

作

緊 五 二七
受信二〇五〇
譯始二二二五

譯丁二三四〇

電 一三三二一五
一三三二一六

作 備・参本

昭和四年五月卅五日

機密第二七〇〇〇七番

二分ノ一二

三二根戦闘概報着信艦所

之ヲ擊大ナル出血ヲ與ヘツツ

邊

(ロ)「ミンタル」方面ノ陸軍二個旅團ハ逐次敵ニ浸透セラレ戦線ヲ整理既設陣地ニ據ル敵撃滅ヲ企圖スルニアタリ海軍右岸地區部隊主動三大隊ハ一部ヲ必勝臺北方四料「ビヤモリ」山ニ殘置シ主力ヲ陸軍擔當「ミンタル」北東五料方ヨリ「マテミレ」ニ進出セシメ左第一線トナリテ陸軍ニ協力セシム

(ハ)右岸陸軍主力ノ後退ニ伴ヒ左岸海軍モ進出ヲ得ズ尙戦線ヲ右復廊戰態勢ニ移行セントス

(ニ)「チヤン」街道ノ敵ハ「バナカミレ」附近ニ四〇〇一六〇〇戦車八装甲車一〇數輛ヲ集結「チヤン」ニ主攻シアリ 我ハ之ニ對シ街道上ニ新込續行中

(ホ)「チヤン」方面ノ敵一箇大隊ハ北東南三方ヨリ「チヤン」飛行場南西高地ノ陸軍テリバン地區部隊主陣地ニ對シ攻撃開始我ハ之ヲ急襲大ナル出血ヲ與ヘツツ

(2)

2. P T 方面

1838

ニ P T 方面

(1) 〇四一五 耶逐 第一 臨海 艇三 「サンオーガスチン」 見張所
同 一七三〇 D 一 一 一 一 「ダバオ」 灣 侵入。

昭和廿年五月卅號

昭和十一年五月廿九日

五二八 受信 〇五四五 訳了 〇八三五 電一三四八五 作航 航本

三二特根戦闘概報着信艦所
聯合艦隊中

機密第二七一四〇四番電 三分ノ一

警備部隊戦闘概報第四一號(五月二七日其ノ一)
海軍記念日ヲ陣中ニ迎ヘ在ダバオ海軍部隊ハ士氣益
旺盛之旗ヲ心頭ニ掲ゲテ勇戦敢闘魄敵撃滅ニ邁進
シツアリ
五月二六日戦闘詳報ニ海軍部隊ノ收メタル戦果左ノ如シ
一 陸戦開始後(デゴス方面ヲ含ム)人員殺傷二三
艦船沈没(死傷者七)推定ヲ含ム艦船轟撃
駆逐艦一隻(運送船三隻(撃沈))
通一五二二一 口Bラ十八(七八七五K) 三二通 品田(品田)

5月28日

1840

電 13458

信始 06.30
受訊 07.50
了 10.06

作概 0

五二八

受信 06.30
譯始 07.50

譯了 10.06 電 13458

昭和七年五月廿九日

緊急

着 三十一通信隊
報 大海參一部

發 三十二通信隊

機密第二七一九五七番電

發據其團長
宛尚武參謀長

一、カバオ河口右岸地區ニ於テ新企圖ノ下ニウラ（カバオ市西北

二、料）東西ノ既設陣地ニ依リ兩軍並列ニ其陣前ニ

於テ敵ヲ數手減スヘク準備中而シテ昨二十五日夕刻ニ浸透セ

敵ノ混戦狀 態ニ陥リシモ安定ヲ徹回敵中突破拂曉迄

順調ニ新陣地ニ轉進ヲ完了敵ハ午前中攻撃シ来タルモ

午後行動活潑ナシ

二、左岸地區ニ變化ナシ

三、敵ハ二〇一五カバオ三隻ノ輸送船ニ依リ人員資材揚陸中

通 一五二三〇一五カバオ

（八〇八五）32 CG 村山（未核）

人

五 二二八 受備二一〇 二九 譯了 一四〇〇 電一三九七三 功績 作概〇

至急

東通・三一通

三二二 通

作

機密第二八〇八四一番電

暗號手帳

發 三二警備部隊指揮官

宛 G K P 司令長官

通報 大海參一部長 第三艦隊司令長官

五月二十七日南菲空「テゴス」分遣隊肉攻班上等整備兵曹永原（吳志

整二二七五）二等整備兵曹藤峯（吳徹整二四〇七）整備兵長飯田（

吳徹整四九九五）上等整備兵西山（吳國整五一）ヲ表彰セリ理由

五月二十七日「コタバト」街六六二整備ノ爲道路上ニ肉攻隊員トシテ

挺身潜伏敵ニ近接スルヤ同方面ニテ克ク好機ニ投ジ視發地雷（二十五

番）ヲ火セシメ人員殺傷二〇〇以上砲一及物ニテ自働雷六爆碎

編一五山六八 呂一ヨラ十八（七八五五四）三二通 長谷川 井（）

電 13973 作概功績

21.10.45 21.12.14

5月28日 29日 受信了 受取済

1841

ノ戰果ヲ擧ゲ永原上等整備兵曹ハ負傷（大腿部ニ貫銃創ニ發）シタ
ルモ之ニ屈セス全員歸還セリ其ノ武勇極メテ顯著ナリ。

(二)

5月28日
受信了
受信了

8781
20.04
20.52
21.41

電 1370.9
作 概

五三八 受信 二〇四
誤始 二〇五
誤了 二二四
電 三七〇九
作 概

昭和廿年五月廿九日

③ 三二根 駁 駁 報 着 信 艦 所
④ 大海 參 一 部 聯 合 艦 隊 日

三二警備部隊

駁 艦 第 三 八 四 三 七 番 号

三二警備部隊 駁 艦 報 第 甲 三 號 (五 月 三 日 其 一)
一〇〇 艦 船 一 隻 (艦 種 不 詳) 夕 夕 才 二 沖 二 于 轟 沈 せ り
艦 艇 一 機 雷 二 觸 し 夕 夕 後 二 認 ら ぬ

通 一 五 四 二 大 呂 一 百 三 十 八 (一 八 五 五 九) 三 十 通 簡 報 (横 田)

昭和廿五年五月卅日

五 二二八 受信二〇二六 譯始一三二〇
一三九八
電一三九八三
參作概〇

三二二通信隊

作

三一通
大海參一部

機密第二八一六〇六番電 二分ノ一二

發 據兵團長
宛 尙武光威豹

電 13982
作 13983
本

5月 28日 29日
受訊 信始了
13.20 14.10

一「ダバオ」河右岸地區ノ敵ハ其ノ後攻撃準備中ナルモノノ如ク敵ノ
攻撃ハ砲爆撃及一部ハ「トクボク」方面ニ戰車隊及歩兵一中隊半ヲ
以テ砲撃シタル外活潑ナラズ
二「ダバオ」河左岸北西方面ノ敵ハ砲爆撃ヲ「ラサウイ」西方陣地（
メルキウ山地）ニ稍熾烈ニ實施シタル外大ナル變化ナシ

通 一五四二八 呂一Dラ一八（七八五五K）三二通尾島（島田）
一五四五二

193

三、兵團ハ既設陣地ヲ增強今後ニ於ケル敵ノ如何ナル企圖ニモ對應シ得
ル如ク準備中ニシテ陸ニ轉進セル左翼旅團ハ配備ヲ完了セリ

四、據戰電第一三九號中五月二十日迄ノ敵人員殺傷四四七六ヲ三四七六
ト訂正 尙二十六日迄ノ敵殺傷六一七六ナリ。

《東通註 誤字多キタメ完全翻譯困難》

5月 29日 受信了
 1848 受訳訳

13.29
 14.02
 15.10

電 14013
 作 概
 参 本

緊急

五 二九 受信一四三二九
 譯始一四〇二九
 譯了一五一〇
 電一四〇一三

参作概
 本〇

h/r

三二根戰團概報着信艦所
 二二、二三、二六各根

機密第二九〇九四八番電

三二特別根據地隊戰團概報第四五號

(五月二十九日其ノ一) 参謀長報告綜合

一 假稱五一機雷ハ敷設容易ニシテ大發一隻一回六個且確度良好ニシテ

效果大戦團開始時(一週間乃至一箇月) 三二箇敷設中今日迄ニ觸雷

轟沈掃海艇一隻艦種不詳二隻ノ戰果ヲ得タリ

三 戰團司令所ノ所在秘匿上偽裝迷彩燈ヲ管制發煙防止ノ徹底及附近ニ

車道ヲ附セザルコトヲ必要トス當隊第一戰團司令所ガ戰團開始後一

箇月砲爆臺ニ對シ安全ナルハ右ニ依ルモノト認ム。

一五七五九
 一五七〇〇
 星野(左)

195

5月29日 受信 14.58
 1848T 受訊 16.15
 信物了 18.30

電 14185
 作概本本
 航本本

作

緊急

五 二九 受信一四五八 譯了一八三〇 電一四一八五

航作 本概

昭和五年五月卅三日

三二根 戰闘概報着信艦所
 二二、二三、二六各根

機密第二九〇九五番電

戰闘概報四四號 (五月二十八日其ノ二)

A	王	王	王	王	王	王	王
B	王	王	王	王	王	王	王
E	王	王	王	王	王	王	王
J	王	王	王	王	王	王	王
Q	王	王	王	王	王	王	王
W	王	王	王	王	王	王	王
X	王	王	王	王	王	王	王
Y	王	王	王	王	王	王	王
Z	王	王	王	王	王	王	王

一、ダバオ方面バナカン方面敵ノ行動活潑ナリ第一飛行場方面ノ敵ハ飛行場ノ周邊ヲ確保西方侵入ヲ企圖シアリ二十八日北外バオ道路附近ニ戰車装甲車六ヲ含ム敵二〇〇以上來襲セルモ一大隊肉攻班三名ハ瞬發地雷ヲ以テ其ノ一〇〇以上爆碎撃退セリ

二、海上方面

(イ) 〇九一〇驅逐艦一隻、掃海艇六隻バルート島南岸掃海サランガニ島東岸北上サランガニ海峽西進
 (ロ) 〇九一〇D一、十一、十六才灣出港西方海面ニ向フ
 (ハ) 三二警備隊戰闘艦四三號ノ通
 一五七七七
 呂一B (一五七一〇C) 三二通 小原 (金森)

5月29日 8時18分 受信 20.50 00.24 03.30

電 14265
作 概
本

人

作

三 一 通
大 海 参 一 部

機密第二九一九四三番電

宛 發 據兵團長 尙武參謀長

二十八日夕バオ一戰況
一、夕バオ一河右岸ノ敵ハ本朝來二回ニ亘リ「トクボク」附近ノ我陣
地ニ戰車裝甲車ヲ伴フ歩兵約二中队ヲ以テ攻撃シ來ルモ所在部隊ハ
敵ヲ陣前約一五米ニ引寄せ 敢反撃ヲ加ヘ之ヲ撃退該方面ノミノ遺
棄死体一五〇ヲ下ラズ 呂一五（七八七五）三二通
通 一六〇〇三

蘭答（金森）

五
三二〇九
受信二〇〇二五〇
譯始〇〇二四〇
〇三三〇
電一四二六五
參作
本概

昭和廿五年五月卅日

197

三「ダバオ」河左岸軍部隊方面ノ敵ハ「ラサン」西方ノ主
 シ砲撃ヲ稍々活潑ニ實施セル外大ナル變化ナシ
 三敵ハ連日ニ亘リ我ガ後方地區（邦人地區ニシテ「ダバオ」西北方約
 三五軒以北）ニ對シ銃撃及一部砲撃ヲ實施シアルモ損害極メテ輕
 微ナリ。

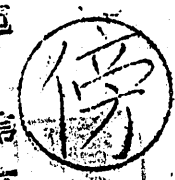
5月30日 受信了
098T 受訳

20.30 電 14712
00.00 作概 0
01.15

五 三三〇
三一〇 受信 〇〇〇三〇〇
譯了 〇一五 電一四七一二 作概 〇

緊急

第六震洋隊 (三二通氣、三二特根)



宛 第六震洋隊 無線中尉

機密第二九二一二五番電

N B B 電令作第四七號
「ガオヨリ」「サンダカン」方面ニ轉進セル南西方面陸隊麾下各部
隊可動人員ハ一括此ヲ陸隊ニ編成所在最先任者(軍令承行令ニ依
ル)此ヲ指揮「サンダカン」方面ノ防備ニ任ズベシ 指揮官ハ指
向地上戦團ニ際シテハ第六震洋隊長ノ指揮ヲ受クベシ
揮官名ト共ニ編成ノ人員ヲ報告スベシ。
通一六五二二 天一ドラ一二(五〇八五BC) 新竹空 林(松山瑞)

199

昭和四年五月卅日

5月30日31日

1981

電(4723
4724)

受信
22.20
01.19
01.54
了
受
誤

作
本
参

五
三三〇
三一〇
一〇
受
信
〇
一
一
九
譯
了
〇
一
五
四
電
一
四
七
二
三
一
四
七
二
四
参
作
本
概

三根戦團榎報着信盤所

機密第三〇一三〇一番電

二分ノ二

三十二警備部隊戦團榎報第四十六號(五月二十九日其ノ一)

ニダバオ方面敵ニ「バナカン」「テブニコ」方面ノ敵ハ「マンドツク」

地帯ニニ熾烈ナル砲撃ヲ加ハヘルト共ニ其ノ行動特ニ活潑トナリテ

戦車五歩兵約六〇〇ノ敵ハ「テブニコ」「マンドツク」道路ヲ攻撃

シ來タルモ我ハ主陣地帯ヲ確保シアリ

(四)バナカン海岸附近道路ハ短滑走路ニ補修セラレ観測機ヲ使用中

(四)ウラ街道突破ヲ企圖シアル敵ハ「トクボク」方面ニモ強壓ヲ加ハ來

タルモ遺棄死体一五〇ノ戦果ヲ報シ撃退ス

一六四九三
一六五九七
三
呂一ヨラ十八(七八五五五)三二通
大内(松井)

200

昭和廿年五月卅日

(三) リビー飛行場敵機一〇使用開始

(四) ラサン陸軍部隊二十八日、戦果人員殺傷三二〇以上破壊装甲車一車輛一迫撃砲一幕舎

ニ海上方面

(イ) 〇六〇〇駆逐艦一掃海艇六潜水艦三サラングニ潛浸入〇九五〇飛行場附近偵察南下

(ロ) 一九三〇駆逐艦一掃海艇六サラングニ海峽東進ダバオ灣浸入。

(二)

20

人

至急
五三一受信〇〇〇。譯了〇〇〇。電一〇九八七
澤始〇一〇〇。作概〇

傍

着

四四整備隊・糧領掃部隊

發

三三整備隊

暗號

三〇一三〇三〇

電 14917
作概 14918

宛 灘 參謀長 其一二二

0.4.10 二K B 我中概報 五月二十日
01.00 一一五〇 P 38 五通次「ハナナ」地区ニ侵入偵察一二二〇地上砲火ニ依リ
10.00 之ヲ惠退ス

5月31日 信指了
受取

1858
三
近市街ニ投弾（爆彈五燒夷彈ヲ使用）セルモ爆彈殆ク海岸附近ニ落下兵
舎ニ落下燒夷彈ハ各所ニ火災發スルモ全部殆ク九燒下セリ一三三〇地上砲火
ニ依リ之ヲ惠退ス
被害民家八棟全燬。
協作（六一二二三）三三三〇

昭和廿年五月卅日